

Information

公益社団法人 全日本広告連盟
〒104-0061
中央区銀座 7-4-17 (電通銀座ビル 7F)
TEL. 03-3569-3566 FAX. 03-3572-5733

記者各位

第 7 回「全広連日本宣伝賞」各賞決まる

公益社団法人全日本広告連盟(大平 明理事長)は、昨年 12 月 18 日、第 7 回「全広連日本宣伝賞」選考委員会を開き、「松下賞」を唐池恒二氏(九州旅客鉄道㈱代表取締役会長執行役員)、「正力賞」を高田 明氏(㈱ジャパネットたかた創業者、㈱V・ファーレン長崎代表取締役社長)、「吉田賞」を戸田裕一氏(㈱博報堂DYホールディングス代表取締役社長、㈱博報堂取締役会長)、「山名賞」を西村佳也氏(コピーライター)、「特別賞」を岸 志津江氏(東京経済大学副学長・経営学部教授)にそれぞれ贈賞することを決定した。

各賞は、5 月 16 日(木)開催の「第 67 回全日本広告連盟富山大会」(富山市「富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)」)式典内で贈賞を行う。各賞の受賞者と贈賞理由は下記のとおり。

第 7 回「全広連日本宣伝賞」各賞受賞者と贈賞理由

■松下賞

唐池恒二(からいけ こうじ)氏
九州旅客鉄道㈱ 代表取締役会長執行役員

九州旅客鉄道㈱常務取締役、代表取締役社長等を歴任し、2014 年に代表取締役会長に就任、2018 年より現職。強い指導力と斬新な企画力により鉄道事業と不動産・飲食・流通事業等の成長にリーダーシップを発揮し、2016 年東証 1 部上場。高速船「ビートル」、観光列車「ゆふいんの森」等で九州の魅力を国内外に発信した他、クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」の立ち上げに寄与、全国の J R グループにブームを起こした。東日本大震災が起きた 2011 年、九州新幹線全線開業の CM が九州の地から日本に明るい希望を発信し、国内外の広告賞を受賞。広告の社会的使命を全うし広告界の発展に寄与した。

■正力賞

高田 明(たかた あきら)氏
㈱ジャパネットたかた 創業者
㈱V・ファーレン長崎 代表取締役社長

1986 年、父親が経営する店から分離独立する形でカメラ店を創業。1999 年、㈱ジャパネットたかたへ社名変更。後発のテレビ通販事業者ながら、自らの出演で売り上げを伸ばし、広告界の活性化に寄与。自社で C S デジタル放送の委託放送事業者の認可を取得し、佐世保の自社ビル内や、東京にテレビスタジオを設ける等、メディアとしての顔も持ち、幅広く業容を拡大。2015 年に同社代表を退任後、2017 年には、経営難だった J リーグクラブ「V・ファーレン長崎」を㈱ジャパネットホールディングスがグループ会社化し、クラブの代表に就任。経営再建に乗り出す。自ら先頭に立ちチームの認知を全国に広げ、地域活性化へも多大な貢献を果たしている。

■吉田賞

戸田裕一（とだ ひろかず）氏

(株)博報堂D Yホールディングス 代表取締役社長

(株)博報堂 取締役会長

(株)博報堂取締役、代表取締役社長等を歴任し、2017年より取締役会長。博報堂入社後、制作局でコピーライター、クリエイティブディレクターとして活躍、数多くの広告賞を受賞。経営企画室では、2003年博報堂、大広、読売広告社3社の経営統合の指揮にあたり、博報堂D Yホールディングスの発足に尽力。2006年より(株)博報堂D Yホールディングス代表取締役社長。博報堂D Yグループの経営体制の強化を積極的に推し進め、広告界全体の発展に大きく寄与した。

■山名賞

西村佳也（にしむら よしなり）氏

コピーライター

(株)サン・アドを経て、1975年(株)ウエストビレッジ設立。多摩美術大学教授等を歴任。現(株)アマナデザイン顧問。コピーライターとして、サントリー山崎・ピュアモルトウイスキー「なにも足さない。なにも引かない。」、ウールマーク「触ってごらん、ウールだよ。」、西武百貨店「女の時代」他、日産、資生堂、日本生命、NTTなど名コピーワークの数々で広告文化史を創り上げてきた。主な受賞歴はADC会員最高賞、TCC最高賞、毎日広告デザイン賞、クリオ賞、カンヌ賞等。長年にわたり広告界の発展向上に尽力した。

■特別賞

岸 志津江（きし しずえ）氏

東京経済大学 副学長・経営学部教授

1996年度日本消費者行動研究学会会長、2010年度から2015年度まで日本広告学会会長を務め、学会の発展に寄与するとともに、研究者として、日本の広告研究の発展に貢献。広告効果の理論、広告管理、統合型マーケティング・コミュニケーション、および消費者行動について、研究を続けている。『現代広告論』などの著書を始めとして広告教育において啓発的役割を果たし、さらに長年にわたり大学で教鞭をとり学部長・副学長職を務める。広告界にとどまらず各界に優秀な人材を多数輩出した功績は大きい。

※「全広連日本宣伝賞」について

公益社団法人全日本広告連盟（全広連）は、日本宣伝クラブが昭和30年代から行ってきた、「日本宣伝賞」の顕彰事業を平成25年度より継承。必要な再編成を行い、全広連の公益目的事業の一つとして育成、発展を行おうとするもので、広告主（「松下賞」）、媒体社その他のメディア関係会社及びイベントその他のコンテンツのプロデューサー（「正力賞」）、広告関連会社（「吉田賞」）、クリエイター（「山名賞」）それぞれの立場から、広告の社会的使命の促進に係る広告界の向上・発展に尽くし寄与したもの（個人）を、年1回顕彰する。また、「特別賞」として、広告の社会的使命の促進に特別に功労があった、と認められた場合は、上記4賞に加えて個人又は団体を顕彰している。

※当リリースに関する問い合わせは全日本広告連盟（TEL：03-3569-3566、URL：www.ad-zenkoren.org）まで。